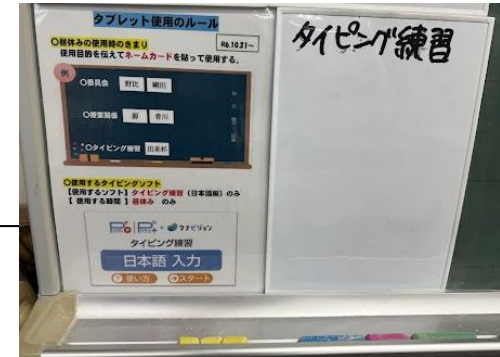


リーディングDXスクール事業【実践事例】

天草市立本渡中学校（熊本県）【指定校】

【取組内容②】 タブレット端末の正しい利用について

タブレットを使用目的以外で使ったり、必要でない場面で使用したりなどの課題があったため、タブレットを正しく活用するための取組を行なった。



タブレットの正しい利用を促すための可視化の工夫

1 目的

- ・タブレットの適切な使用を促し、学習環境を整える。
- ・誰がタブレットを使用しているかを明確にし、管理をしやすくする。

2 取組内容

昼休みにタイピング練習を行う際、黒板に生徒のネームプレートを貼る。これにより、誰がタブレットを使用しているかが一目で分かる。

- ・**タブレット利用の可視化を行う。**
- ・**不正使用の防止**：事前に決められた生徒以外がタブレットを使わないよう管理できる。
- ・**責任意識の向上**：生徒自身が「自分が使用している」という意識を持ち、適切な使い方を心がけるようになる。

3 期待される効果

- ・タブレットの適切な管理が可能に
- ・生徒の責任感が向上
- ・教員がタブレットの使用状況を一目で把握できる

このような工夫により、タブレットを安全かつ効率的に活用しながら、タイピング学習を進めることができる。